

# 鶴岡ロータリークラブ会報

## 361

1976-6-22 No.52

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区  
例会場 鶴岡市馬場町 物産館 3階ホール  
例会日 毎週火曜日 午後 12.30～1.30  
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235 (22) 5775  
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 敏

### ◆ 点 鐘

### ◆ ロータリーソング (それでこそロータリー)

### ◆ ビジターゲスト紹介

### ◆ 会長報告

- ❖ 6月19日 PM4:00～7:00 (湯野浜・福住において) 庄内分区新旧会長幹事会
- ❖ ロータリー財団奨学生 菊地敏君が1カ年の勉学を終え、アメリカより6月27日帰国
- ❖ 会員の阿部襄君、国際生物学会に出席のため約1週間の日程で6月25日よりジャカルタに旅行

### ◆ 幹事報告

#### ❖ 例会時間・場所変更

- 温海ロータリー 6月29日(火) 午後4時 滝の屋旅館
  - 山形ロータリー 6月30日(水) 午後6時 丸久松坂屋8F
  - 酒田東ロータリー 7月1日(木) 午後4時 湯野浜 寿海荘とみや
  - 秋田県矢島ロータリー 創立10周年記念式  
9月19日(日) 矢島町立矢島小学校体育館 登録料 8,000円
- ❖ 会報到着 能代ロータリー

### ◆ ゲストスピーチ

- 衆議院議員 加藤紘一先生 (後述)
- 留学生 菊地 敏君 帰国あいさつ
- 会員 阿部 襄君 海外出張あいさつ

### ◆ 出席報告

### ◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を!

## ジャカルタの旅行について

会 員 阿 部 襄

菊地君が、1カ年間の留学生生活をさせて頂いたことについては、私からも心から感謝いたします。

なお私事ですが、今回インドネシアで開かれる国際生物学会に出席のため、1週間程度旅行をいたします。25日羽田空港を出発して、ジャカルタに7日間滞在して、簡単な研究発表をいたします。

その後セレベス島を中心にサンゴ礁の調査などを行い、7月10日には帰る予定であります。

その間例会を休ませて頂きます。この間インターアクト委員会には何かとご迷惑をかけることになってしまいますがどうぞご了承願います。

## ＝ 国会寸描 ＝

衆議院議員 加 藤 紘 一

ご無沙汰致しております。何んとなく気忙しい毎日を過ごして居りますが、先程菊地君のアメリカ報告を受けまして、私もアメリカの大学に1年間居りました当時を思い出しました。私は日本の大学に5年間に在学しましたが、アメリカの1年間は日本の何倍かに相当する学業の成果を得たと自覚しております。そうした経験から、日本の教育には最大の関心を持って居ります。特にアメリカの大学における特徴として、助手の方を使って学生1人1人を丹念に教育して行くシステム、入学時には大勢の学生を入学させますが、いざ卒業となると、極めて厳しく実際に卒業出来る者は、数少なく、このシステムを日本にも取り入れたらと思つて居ります。結論は助手の方の訓練がうまくゆかぬところに、現代の教育行政に問題が残されて居ります。しかし、何れにしても、将来とも考へて行かねばならぬことと思ひます。

私は日本の大学では政治学を専攻しました。アメリカでもそれに類した学問をやりましたがアメリカでのやり方は、書物から受ける内容の考慮研究ではなく、自から思考し、自分なりの論理を、組み立てる。それを現資料に基づいて積み上げて行くと言う方式です。こうした訓練を受けて、私は、私なりに自分としての物の見方、考へ方に対して確立する努力は日頃して居る心算です。

そうした意味から、特に最近の政局、麻糸の如く乱れた現政局の様相をみますと——政局の中であつて、余り政局の分析ぐせを出しますと、政治家として成功しないと云われて居りますので——その点は自から思うまま自重して行動することが政治のファッションと考へられます。余り混乱して参りますと、いったいこれからどうなつて行くのか、特に冷静に判断して参らねばならぬと思ひます。

時にロッキード事件、この事件には余り気にしなさんな、と自民党の私共によく言ってくれる方もおります。例えば、私が自動車を買いたいと思つております。このことを私の友人が知りまして、その友人がトヨタのセールスマンに話をし、セールスが成功して、そのお礼として鶴岡のマーケットで紹介者の友人がご馳走になった。これも一種のコミッション、手数料であります。スモール児玉さんであるといえましょう。この程度のことは世間にはたくさんあります。依つてロッキードの事件は余り気にしなさんな、と云うわけです。これは誠にありがたいお言葉と受け取つていますが、併し事が以上のように民間人のベースですと問題になりません。が、権限、権力を持った役人、政治家がやつたとなると、許される問題ではなくなります。そ

して、その真相を明らかにせよ、否明らかにせざるを得ないことになります。

この度の事も、新聞等で種々報導されて居りますが、8月の下旬、私の考えですが、真黒で裁判にかけられ、訴訟されるのは、4、5名位か、灰色の高官、又は時効にかかったけれどもあの人は頂いたろう、と思われる名前の人々が、何等かの型で表に出て来ると思います。そしてこの究明は是非とも日本の警察でやらねばならぬ問題と思います。と申しますのは、アメリカに（SEC）証券取引委員会と云う機関があります。これは一般の投資家を守るために、企業がとんでもない不正行為、取引などをやらせぬための取り締まり機関であります。

今回はロッキードを徹底的に、取り調べて居りまして、アメリカの法律に、この機関が取り調べを始めてから、6カ月で、内容を公表せねばならぬ規則があります。それがだいたい11月～12月になります。するとそのころ発表されますので、灰色も含めて、それまでにはアメリカの資料は出て仕舞いますから、日本の検察も権威にかけても事件の真相を明らかにせねばなりません。ですからこれは、当然明らかになります。

私は日本の検察官、警察は誠に信用出来るものと思います。世界に検察、警察はいろいろあります。併し日本のそれは公明正大と云う意味では世界に冠たるものであります。ご承知の如く、ニューヨークの警察あたりでは、マフィアなどと組んで、市民を脅したり、全く考えられぬことをやってのける、驚くべき警察であります。又このごろ香港の警察で、総督が賄賂を恐喝して大騒ぎになったと申します。その点、日本の検察はしっかりしたもので、なおかつ日本の検察は代議士や政治家、及びそうした権力を恐ろしがりません。

その第一の理由として、代議士や大臣は選挙であがって来ます。その連中がたび選挙違反でもして、検察官の前に来ると、青くなつて何んとか、大目にみてくれ、と人間の弱さを露呈します。それやこれやの理由から、特別に恐がりません。もう一つの理由に、司法試験を通過しておりますので裁判官に、又は同期の連中で弁護士になっている人もおります。弁護士になった人は月の収入が40万、50万と得て居ります。が、一方30歳前後の裁判官の給料はと申しますと、同年代の人としては同じ公務員でも高い方の給与を受けても20万少々でしょう。こうした安い給料で働いておると云うことは、その仕事に生き甲斐を見出しておるからで、社会の不正に対抗して、その真実を暴くと云うところに生き甲斐がありましよう。

若し、それが出来なければ、裁判官を退めて弁護士になった方が、収入がよく、何時でもなれると云う、聞き直れる姿勢があり、特に児玉さんを調べに行った2人の検事、1人は中央大出身40歳ぐらい、もう1人は東大法学部出身のキリットした30歳ぐらいの人。この2人は、決して妥協するなんて全く考えられません。過去にも彼等が妥協しなかった例があります。それは有名な造船疑獄事件であります。ギリギリまで追いつめて総理大臣の首まで危なかったところが犬養さんの指揮権発動で犬養さんは政治生命を失いましたが、時の幹事長佐藤栄作さんは助かって、後に総理大臣になりました。

今指揮権発動が出来るか、どうか、若し発動したら自民党は、次回の選挙に3分の1になって仕舞うでしょう。指揮権発動なんて出来ません。若し仮に発動の動きでも見るとしたら、私は否、国会内の若手議員は結束して猛反対するでしょう。自民党内においても種々意見はありそうですが、国の方向を危ぶむような行為、行動は絶対に避ねばならぬと信念を以って申し上げる次第であります。

今度、河野洋平氏をはじめとする6人の士の離党問題が起こっておりますが、少し早すぎた。そしてマスコミに乗せられたという感はありません。

私も政治工学研究会に属しておりますが、一部報道では彼らの次にもう4人確実に離党するだろうし、その次の4人辺りには加藤紘一も入るだろうと云っておるようですが、私は今のところ離党の考えは毛頭ありません。

確かに1人のおとしりやが出て来て総理をやれとかやめろとか密室談議で一国の政治を動かすようなことは許されませんし、自民党の金権体質も是正しなければなりません。それにはやはり金のかからない選挙をやらなければなりません。私は冠婚葬祭には花輪など贈らないようにしています。こういったことにまともにつきあっていますと、月々の経費も馬鹿になります。ある代議士などはその費用が月に100万円ぐらいになるということです。

ですからこういった問題に関しましては、皆様方からも充分のご理解とご協力を頂きたいと存じます。皆様派閥に関してもいろいろご意見もあるでしょうが、選挙に金のかかる以上、なかなかなくならんのが現状かと思えます。

よく部落公民館などへ5万円ぐらいの寄附なども求められ、「部落民のための施設です。それに貴方の後援会の集会等にも使用されるはずだから」といわれると大変弱いのです。私の選挙区に1,000以上の部落があるはずですし、全部に寄附していたらどうということになるかお分り頂けると思えます。それよりも私は一本でも多く、橋を、そして道路のよくなるよう、政府に働きかけるよう努力するつもりです。

幸いにもわが山形県二区は、最上、北村山地区は松沢、庄内は加藤という風に比較的安定地盤なので膨大な資金を使わなくて済むようですし、その点大変感謝致しております。

とにかく、現政局は荒れに荒れておりますが、長老による雲の上政治、ロッキードに見られる金権体質等もこういった洗礼を受けることによって徐々によく変わって行くものと思われませんが、我々若手議員にとっては、むしろ出番も廻って来ることであり、政局よ荒れるよ荒れる！というのが本音です。(後略)

## 1カ年のアメリカ留学を終えて

菊 池 敏

鶴岡ロータリークラブから御推薦戴きロータリー奨学生としてアイオワ州立大学の免疫遺伝学を学ぶ機会を得ましたことを感謝申し上げます。

小学園都市アイオワ州、エイムズで暮し私なりに感じたアメリカの人々の生活について少し述べさせて戴きます。

### 1. アメリカの学生、大学院の生活

アメリカの学校は朝早くから始まります。私たちのクラスは7:00からでしたので、6:00には起きて寮のカフェテリアで朝食をすますとクラスに走って行きます。朝食は大体毎日同じです。トースト、コーヒー、スクランブル・エッグ、コーン・フレーク等(シリアル食品)です。大部分の生徒は、15分位前にクラスに着き着席して先生のくるのをまっています。その間、前のクラスの授業について討論したり世間話しをしたりしていますが、先生が来ると勝手に表情がかわり勉強する姿になります。時間通りに始まり、時間通りに授業は終了します。

大体先生は、一時間教えるのに3~6時間位勉強して来ますので、密度の濃いものになります。又生徒は授業中でもわからないことがあるとどしどし質問して理解して行きます。もし授業中で理解できない時には、先生のオフィスに行って理解できるまで質問します。先生は詳細にわたって教えてくれます。

テストは1学期に普通2~4回あります。その都度成績が発表され、92点以上A、91~85点B、84~75点C、74~70点D、70点以下落第ということになります。大学院レベルではAがBが多いようです。もし平均がB以下だと落第です。

アメリカの学生は、日本の高校生と同じでガリ勉強します。時間休み、昼食の時、寮に帰っても勉強、勉強です。図書館は、毎日夜12時まで開いていて学生は12時までには図書館でします。その後寮に帰って寮の自習ラウンジで勉強します。寮のラウンジは24時間いつでも静かな雰囲気勉強ができます。

又、学期末のテストになると徹夜の勉強をする人も居るようです。シャワーも浴びずに学校に来たとか、体重が4kgもやせたといった友人を見たり聞いたりします。そんなに勉強したテストの答案が返えされると喜怒哀楽さまざまです。先生の正解が説明された後、生徒が自分の点数に不満があれば、いつでも先生は、生徒と話し合います。時々先生の方がおれて、10点以

上も点数が上がった学生も居ます。

又学生が不満足な点数しかとれない場合、学校当局からと教授から、クラスをやめなさい、今学期は学校に来るのをやめなさい、学校をやめなさいとの手紙をもらいます。何人かの留学生、アメリカの学生は、このような手紙をもらったとのことです。

又ホーム・アサイメント(宿題)、テークホームエкзаム(持ち帰りテスト)等もあり、学生は休むひまなくきたえられます。

しかし一度、学士の資格を得ると月給は30万円位の初任給をもらいます。(学部で異なるが)修士では40万円位、博士では50万円位と資格によって所得が異なります。

昼は、学生はサンドイッチを持参して友人と話しながら、本を読みながら、勉強しながら思い思いの所で食事を終らせます。午後のクラスが終るのは、大体5時、その後夕食をとりませす。寮のカフェテリアでは肉、魚料理、野菜サラダ、ジャガイモ料理、デザートを食べ少し休んだあと、図書館に出かけたり、夜のクラス(9時頃までクラスがある。)、大学院の生徒は自分の研究室での実験をします。帰宅は夜中になることがしばしばです。

しかし休日になると勉強は忘れ映画、スポーツ、デート、パーティ、その他たのしい一時をすごします。

## 2. アメリカ人の生活

家、家具、インテリア、庭、車等にたくさんのお金をつぎこむアメリカ人は決して生活は楽ではないようです。日本と同じで家、車はローンで毎月の収入から引かれ衣類、食費などは節約に節約を重ねているといった感じがします。アメリカ人は毎日ステーキ、肉類を食べていると想像する人も多いと思いますが、決してそうではなく、何10回と食事に招待されましたが、肉も十分に食べた経験は、ほとんどありませんでした。又アメリカ人と一緒に暮らしたことのある私の友人は、アメリカ人の食事は質素で日本に居るときよりやせたと言っています。

食事に関すれば日本人の方が派手でお金を使っていると言えます。年収600万円の助教授のお宅でも衣物については大体主婦は、子供のものから自分のものまで手作りです。既製品は高いのでなるべく買うのを避けています。彼女らは衣類でも不用になると、他の古物と一緒に、新聞広告を出しガレージ・セールと言って売ります。とても安く売り買ひできます。日本では使えるものでも型が古くなったからと言って捨てたりしますが、アメリカでは使えるものならば必ず他の人に売ります。

## 3. エイムズの社会環境

アメリカの有名な(古い歴史のある)大学はヨーロッパの大学をまねて、大都市より30～150キロはなれた小都市(4万～5万人)にあります。私の居た大学も野ウサギ、リスが学園内を走っているキャンパスです。鳥も春とともにさえずり、環境は良いところです。近くに公園が何十とあり週末には、市民が楽しむことができます。

アイオワ州は禁酒法のなごりがあり日曜日は、ビールも売ることができません。酒屋もたった一軒だけ、それも人々の目にふれない所にあり、私も一年間居て帰りまぎわになりわかりました。日本人の他の留学生もどこに酒屋があるのか知らずにいました。タバコなども吸う人が少なく時々タバコを吸っている人を見とめずらしく感じました。

又、アイオワはトウモロコシ、大豆で有名で、「世界を養え」といった標語を持っています。農産物のいくらかはソ連、日本、他の国へ輸出されるのでこのような標語もあながち豪気なものでもないようです。農家の人々は自信に満ちており、食物を生産する業は一番大切な仕事と自ら告白しているのを聞きました。

## 4. 教授

先生は大体、博士号を得ると大学ではアシスタント、プロフェッサー(講師)となります。この時に勉強、研究をして良い評価を得ると2年前後でアシリエイト・プロフェッサー(助教授)になり5年前後でプロフェッサー(教授)になります。教授になって又著しい成果を上げるとテスティングイシュ・プロフェッサー(有名・顕著教授)になります。この間に生徒の指導研究と多忙な時間をすごします。

教授になるまでは、教授会からの評価と学生からの評価があり、休むことができないといったところです。しかしアイオワ州立大学では、良い教授が比較的多くいました。教授になっても研究して論文を出さなければなりませんし、生徒にも指導をしなければなりません。日本と比較すれば先生方は少し大変です。

#### 5. アメリカの教育制度と私の考えたこと

私のいたエイムズでは、高校生位まではほとんど勉強をはげしくはしません。したがって高校生までの学力は、日本のほうが秀れていると思います。しかし大学生レベルでは私は日本と同レベルか日本の方が劣るかも知れません。大学院レベルでは、研究設備、授業内容とも日本の方が劣っていると思います。アメリカの教育、社会システムでは秀れた人には良い地位をと考えています。小学生1年から飛級があり、小学生1年生でありながらすぐれた人は2年生のクラス、3年生のクラスで学んでいます。能力に合せたクラスと言って良いでしょう。進んで15才位で大学を終了する秀才も居るそうです。又20才位で博士号を取る人もいたそうです。

このように実力、能力に合せたクラスは日本ではありませんが、もし教育制度の中にくみ入れたら良いかも知れないと、私は考えております。しかしこれと反対に理解できない生徒には理解できるまで、教えることのできる先生方がおられるアメリカの場合に可能な条件だと思えます。

日本の教育は先生が生徒数に比較して少なく現状ではむづかしいものと思われます。この意味で先生を増し、良い教育条件を整えるべきだと思います。

#### 6. エイムズのロータリークラブの活動

エイムズ・ロータリークラブの活動(定例集会)は元気なアメリカ国歌から始められユーモアにみちた会話でなされます。講演者は、毎回あらゆる方面からこれらスポーツ選手、学者、経済活動、など良く説明されます。また講演者の会話中にユーモアのきいた、声が会員の中から出て楽しく、爆笑が起ったりします。

活動もゴルフ大会、演劇見物、社会奉仕等、楽しいうちにも地域に根ざして活発にやっております。

日本のロータリークラブのことについて聞かれ知っている範囲で説明しました。日本のロータリークラブの活動は活発だとのことでした。

良いカウンセラーに恵まれて、また私の期待していた以上の大学で勉強ができましたことを今ふりかえり、学ぶことの多い一年でした。

これも鶴岡ロータリークラブの皆様のおかげとっております。今後この経験を生かして、自分の研究に勉強に生活に生かしてゆきたいと思えます。ありがとうございました。

### 出席報告

本日の出席	会員数 75名 出席数 57名 出席率 76.00%	欠席者	阿部(公)君、石井君、五十嵐(三)君、内山君 玉城君、上林君、風間君、小松君、清水君、 角田君、津田君、中野(清)君、斎藤(伊)君、 佐藤(昇)君、石倉君、板垣(広)君
前回の出席	前回出席率 77.33% 修正出席数 70名 確定出席率 93.33%	メモ アップ	笹原君—仙台RC 阿部(襄)君—酒田東RC 佐藤(友)君—温海RC 五十嵐(三)君、玉城君、黒谷君、三井(健)君 小野寺君、板垣(広)君、富樫君、山本君、吉 野君—鶴岡西RC
ビジター	岡本悦衛君—東京王子RC 菅原年雄君、菅沢久弥君—鶴岡西RC		